

〔抜粋〕



発行人 飛田 常年
住所 蒲郡市緑町5-19
TEL 0533-68-1288
FAX 0533-68-1286
E-mail joenen@sk.aitai.ne.jp
URL http://hidatsunetoshi.mie1.net/



自由民主党愛知県議員団 四役 総務会長に就任!



残暑お見舞い申し上げます

大暑の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃より「飛田常年」の議員活動に暖かいご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます
さて、私事ではありますが、今年度、自由民主党愛知県議員団の四役「総務会長」に就任をいたしました。とても身の引き締まる思いであり、一年間与えられた職務を全うし、団の活性化と県民の負託に応えられるよう一生懸命頑張る所存であります。
また、6月定例県議会では、自由民主党愛知県議員団を代表して県政諸問題について「代表質問」させていただきました。以下掲載させていただきます。
これからも、愛知県政発展並びに県民福祉の向上のため頑張りますので、皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

- 平成29年度 役職
◆常任委員会 警察委員会 委員
◆特別委員会
・ひとづくり・福祉対策特別委員会 委員
・議員定数等調査特別委員会 委員
◆政治倫理審査会 委員
◆自由民主党愛知県議員団
・団四役 総務会長
・観光議員連盟 幹事
・消防・地震防災議員連盟 幹事
・農政議員連盟 幹事兼事務局長
・水産振興議員連盟 幹事兼事務局長
・県土整備促進議員連盟 幹事兼道路副会長
・次世代産業振興議員連盟 幹事
・第20回アジア競技大会推進議員連盟 幹事

県議団四役総務会長

東三河県庁担当 石原君雄副知事へ 幹線道路の要望・意見交換

1月



- 1月10日 蒲郡商工会議所 新年交礼会
1日(日) 元朗式・新春ラジオ体操の集い
5日(木) 平成29年度警察署感謝状贈呈式
6日(金) 愛知県ホテル旅館生活衛生同業組合
8日(日) 蒲郡市消防団出初式・成人式
10日(火) 平成29年度蒲郡商工会議所新年交礼会
11日(水) 県政調査会 政策企画局・総務部・県民生活部・防災局
12日(木) 県政調査会 警察本部・教育委員会・振興部・環境部
13日(金) 県政調査会 健康福祉部・病院事業庁・農林水産部
16日(月) 県政調査会 産業労働部・企業庁・建設部
18日(水) 県議会第1回政調会・有志研究会
19日(木) 産業労働委員会県内調査
20日(金) 県議会第2回政調会
21日(土) 蒲郡市羽栗池東土地改良区屋敷整理事業竣工記念祝賀会
23日(月) 蒲郡市消防団 農政懇談会
28日(土) 平成28年度蒲郡市防災セミナー
29日(日) 名鉄西蒲線利用促進大会
大塚学区自主防災訓練
30日(月) 公明党愛知県本部新春賀詞交歓会
31日(火) 県議会有志対馬調査

3月

- 1日(水) 2月定例県議会(一般質問)~3日
商店街振興議員連盟総会
7日(火) 2月定例県議会(議案質疑)~9日
総務会・正副常任委員長合同会議
9日定例県議会(本会議)産業労働委員会・議員総会
オイスカ国際活動促進議員連盟
蒲郡野球協会総会開会式
蒲郡市消防観閲式
14日(火) 産業労働委員会~15日(企業庁)
クルーズ船飛鳥II初寄港歓迎式典
22日(水) 自民党議員総会・総務会
私学振興・畜産振興・県土整備促進議員連盟総会
平成28年度蒲郡市消防団協議会
23日(木) 豊川総合用水土地改良区通常総会
24日(金) 県議会2月定例会 閉会
第3回「東三河地域発達協議会議員と東三河県庁との協議会」
26日(日) 犬山浄水場PF事業(常用発電設備等)完成式典
28日(火) 第3回東三河振興ビジョン
30日(木) 中部国際空港拡充3県1市議員連盟合同会議
県議会一三二会 日間観光、離島振興視察~31日



3月17日 クルーズ船飛鳥II 三河港へ初寄港

5月



- 5月26日 国道23号蒲郡バイパス整備促進協議会 総会
1日(月) 愛知県ホテル旅館生活衛生同業組合定期総会
蒲郡市小中学校教職員会総会
3日(水) 蒲郡漁協同組合教育支所・竹島支所合同水産祭り
7日(日) 蒲郡市民体育大会 開会式
9日(火) 平成29年度蒲郡温室みかん出荷協議会
10日(水) 三河振興会要望活動
13日(土) 平成29年度愛知県植樹祭
16日(火) 平成29年度蒲郡市高齢者春季スポーツ大会
17日(水) 三河教育研究会
19日(金) 蒲郡観光協会定例代議員会
20日(土) 蒲郡市戦没者慰霊祭
21日(日) 第31回エリカカップヨットレース表彰式
蒲郡防犯協会連合会定期総会
中華人民共和国駐豊橋領事館 豊橋領事との懇談会
24日(水) 全国みかん生産者協議会 総会・要望活動
25日(木) 5月臨時愛知県議会
26日(金) 国道23号蒲郡バイパス建設推進協議会総会
29日(月) 蒲郡市農業経営士連絡協議会・講演会
30日(火) 第29回形原温泉あじさい祭り前夜祭
31日(水) 大村ひでお政経セミナー

2月



- 2月6日 蒲郡市消防団創立60周年記念式典 ホテル竹島において
1日(水) 県議会議員有志対馬調査 ~2日
4日(土) ボランティアまつり・堤防づくり交流報告会合同フェスタ
6日(月) 蒲郡市消防団創立60周年記念式典
産業労働委員会 委員派遣調査 ~7日
8日(水) 自民党議員総会
10日(金) 私学関係者との意見交換会
12日(日) 三河湾健康マラソン
13日(月) 参議院議員 酒井康行君を励ます会
豊橋技術科学大学シンポジウム
16日(木) 蒲郡・岡崎市議会国道473号新ルート合
航空自衛隊小牧基地周辺の上空視察
20日(月) 県議会2月定例会 閉会
農政議員連盟・フラワー産業振興協会・自民党議員総会
議案説明会(振興環境・健康福祉)
土地改良・山村離島振興水産振興議員連盟総会
議案説明(産業労働・農林水産)・畜産振興議員連盟総会
23日(木) 議案説明(建設・文教)・自民党振興環境調査会
24日(金) 議案説明(警察・県民総務)
27日(月) 大塚中学校創立70周年記念式典・ローラー・同窓会入会式
28日(火) 2月定例県議会 本会議(代表質問)・保育議員連盟総会

4月

- 2日(日) 平成29年度蒲郡市消防団辞令交付式
愛知県生活衛生同業組合蒲郡支部 第60回通常総会
第2回名古屋ものづくりワールド 開会式
マレーシアマラッカ州首相 知事表敬訪問
13日(木) 愛知ハラルセミナー・スリムと100のビジネス対応
自民党議員総会・東三河県議団合同
蒲郡市体育協会理事会
16日(日) 蒲郡市歯科医師会定時総会懇親会
17日(月) 平成29年度蒲郡市民生児童委員協議会総会
蒲郡商工会議所青年部通常総会
愛知県腎臓病協議会消防署・警察委員会
20日(木) 第24回蒲郡市消防団通常総会
22日(土) 平成29年度蒲郡市文化協会総会
23日(日) 愛知県建設組合蒲郡支部定期総会
24日(月) 平成29年度三河湾振興会 定時総会
平成29年度名古屋道路建設促進協議会総会
平成29年度東三河緑道建設促進協議会同盟会総会
豊川水系総合開発促進同盟会第46回総会
豊川水2期事業促進協議会第16回総会
30日(日) 第17回緑の文化祭



4月12日 名古屋ものづくりワールド ポートメッセなごやにおいて

6月



- 6月10日 潜水艦まきしお 蒲郡港へ初寄港
1日(木) 第35回土砂災害防止「全国の日」
豊田市民文化会館
3日(土) 設楽ダム転流工着工式
設楽町ふれあい広場
愛教同三河地区会蒲郡支部懇親会
蒲郡市国際交流協会総会
(一社)愛知県食品衛生協会第1回総会・懇談会
自民党議員総会・幹事会・六役会
蒲郡工業用水道協議会第48回定時総会
愛知県建築技術研究会総会
潜水艦入港歓迎セレブション 入港歓迎会
愛知県舗装技術研究会総会
6月定例県議会 代表質問
6月定例県議会 一般質問
6月定例県議会 閉会 議会運営委員会理事
愛知県保育協議会総会並びに保育協議会連盟
蒲郡みかん指定市場懇談会
21日(水) 6月定例県議会 一般質問・福祉会 正副常任委員長会議
22日(木) 6月定例県議会 一般質問
23日(金) 6月定例県議会 一般質問
24日(土) 自民党蒲郡支部総会
25日(日) 蒲郡市身体障害者福祉協会総会
29日(木) 県議会 警察委員会
蒲郡みかん指定市場懇談会

※この他に、各地区の運動会、神社祭礼、各種団体職域の総会等に参加させていただいています。



6月21日 県議会傍聴に多くの皆様に参加いただきました

編集後記

平成29年度、自民党県議団四役「総務会長」を拝命することとなり、他団体との関わりが多くなりました。大変勉強になり、県民の皆様の声をさらに強く理事者側に伝える立場となりました。
これからも県民の皆様への負託に応えるべく、県政かわら版を通して情報をお伝えしてまいります。ぜひブログをご覧ください、ご意見ご要望をぜひお聞かせいただければ幸いです。また、蒲形公園西(緑町5-19)に事務所を開いています。お気軽にお立ち寄りください。

ひだ常年事務所 〒443-0048 蒲郡市緑町5-19
TEL. 0533-68-1288
FAX. 0533-68-1286

E-mail. joenen@sk.aitai.ne.jp URL. http://hidatsunetoshi.mie1.net/



平成29年 愛知県議会6月定例会 代表質問 (抜粋)

1 行財政運営について

(1) 県税収入の見通しと今後の財政運営について

我が国の経済は、緩やかな回復基調が続いている。県税収入に大きな影響を及ぼす企業収益は、上場企業の本年3月期決算の内容を見ると、全体では連結経常利益が2年ぶりに増益に転じており、来年3月期の業績予想も、増益が見込まれている。そこで、このような景気動向などを踏まえ、本年度の県税収入についてどのような見通しをしているのか、知事の所見を伺う。

また、基金残高の減少が見込まれる中で、今後の財政運営をどのように考えているのか、知事の所見を伺う。



本会議 代表質問

(知事答弁要旨)

本年度の県税収入は、県内の主要企業において大幅な減益が見込まれていたことや外形標準課税が再拡大された影響などから、法人二税について大幅な減収を見込んで予算計上した。法人二税に大きな影響を及ぼす上場企業の本年3月期決算の状況は、全国の前年ベースでは増益に転じるものの、本県の主要産業である自動車産業は、円高の影響により減益となる。

現時点で県税収入を見通すことは困難で、為替や海外経済などに左右される企業収益の動向に注意を払い、慎重に収税を見きわめていく。

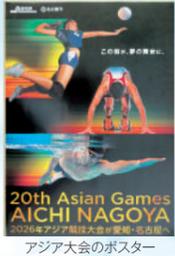
本県の財政運営は、当初予算編成で多額の基金の取崩しを計上して収支不足に対応し、年度内に可能な限り基金残高を回復して、翌年度に再度活用するという、基金を活用した年度間の財源調整を繰り返してきている。平成29年度当初予算においても、減債基金880億円と、財政調整基金588億円を合わせた1,468億円もの基金を取り崩して編成して、当初予算編成時点において両基金は枯渇することとなった。

来年度の予算編成に向けて、この基金残高を回復させることが急務であり、本年度内の財源確保に全力で取り組んでいく。

さらには、「しなやか県庁創造プラン」に沿って、行政改革の取組を着実に進め、税収の確保につなげる。

2 活力と魅力あふれる愛知の実現について

(1) アジア競技大会の開催に向けた取組について



アジア大会のポスター

アジア競技大会を成功させるためには、これらの取組を関係機関と十分に連携・調整しながら、地域が一体となって着実に実施していかなければならないが、国からの全面的な支援・協力を得ることも不可欠と考える。そこで、アジア競技大会の開催に向けて、国との協力体制をさらに強化し、国から様々な支援を得ていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

アジア競技大会を成功させるためには、国の支援も大変重要であり、国と地元との協力体制の強化が不可欠である。国の窓口であるスポーツ庁と密接に情報交換を行い、地元の開催準備組織である愛知・名古屋合同準備会の会議にスポーツ庁も参加して、情報共有の強化を図っている。

議員連盟の設立は県として、アジア競技大会の成功に向けた様々な取組を進めていく上で、強力な応援団を得られ、心強く感じている。

(2) 観光振興について

ア 国内外からの観光誘客の促進について

海外からの本県への誘客については、この6月からは、中部国際空港にバンクーバー路線が就航され、ラグビーワールドカップなど世界から注目されるイベントの開催も見込まれており、今後、欧米からの訪日客が増加していくことが期待される。そこで、本県の国内外からの観光誘客の促進について、どのように進めていくのか、知事の所見を伺う。

国内からの観光誘客については、愛知県大型観光キャンペーンを起爆剤として、市町村及び観光関係事業者等と取り組んでいく。本年10月に開催する全国宣伝販売促進会議は、本県を目的地とする旅行商品造成につなげていく絶好の機会であり、本県の多様な魅力を発信していく。海外からの観光誘客については、平成28年において、中国、台湾、韓国、香港からの訪日客が本県では約8割と、より高くなっている。東アジア始め、経済成長著しいアジア圏は大きな市場であり、旅行商品の造成や情報発信を働きかけるアジア大商談会を昨年度に引き続き開催し、今年度は台湾、韓国、タイから旅行会社、メディアを招聘する。

イ 東三河振興ビジョンによる観光振興の取組について

東三河においては、観光に関する話題に事欠くことがなく、また、昨年2月には、新東名高速道路の本県区間が開通し、東三河へのアクセスの充実が図られている。そこで、東三河振興ビジョンによる観光振興について、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

東三河の観光については、平成24年度策定の広域観光の推進プランに沿って様々な取組が行われ、平成27年の観光客数が平成22年比で10%増と、目標の5%増を大幅に上回った。

昨年2月に新東名が開通する中、新城インターから奥三河全域への観光客の流れをつくり、本年3月に推進プラン「新東名インバクトを活かした地域振興」を策定した。

さらに、クルーズ船誘致に向けた受入環境の整備や三河湾周辺の観光情報の発信、鉄道ファンに人気の高い飯田線の活用など、新たなスタイルの観光振興を進めていく。

市町村及び観光関係事業者等と連携して、愛知県全体の活性化につなげていく。



クルーズ船 バシフィックピーナス

3 新しい時代に飛躍する愛知づくりについて

(1) 科学技術の振興について

本県は、7月・8月を「あいち発明の夏 2017」と銘打ち、「愛知の発明の日 記念講演会」や「世界青少年発明工夫展 2017」といった大規模イベントを開催することとしている。そこで、「知の拠点あいち」での取組状況や「あいち発明の夏 2017」の開催を踏まえ、科学技術の振興にどのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

知の拠点あいちにおける研究開発拠点の整備・強化と次世代成長分野における研究プロジェクトを実施し、ハード面では、企業ニーズを踏まえた高度計測分析が可能な施設や機器、共同研究室を整備し、特に産業利用に特化した最先端のシンクロトン光センターは、利用率が国内の類似施設の中でも最高レベルの約9割で、利用ニーズを反映した運用改善を進めていく。

ソフト面では、産学行政連携の重点研究プロジェクトII期を実施し、70社の中小企業を含む95企業、27大学等により26の研究テーマに取り組む。

人材育成では、主要イベントに国内外から三千名を超える若者や子供達が参加する「あいち発明の夏2017」を開催する。イベントの成功に向け、科学技術や創意工夫に興味を抱く若者や子供の拡大に努めていく。

(2) 農業の振興について

ア 水田農業の振興について

水田農業の振興においては、需要に応じた米づくりを進めるため、国の生産調整に代わる仕組みを設けるとともに、これまで取り組んできた水田をフルに活用する対策を継続していくことが求められている。そこで、本県の水田農業の振興について、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

水田農業の振興について、国の政策に沿った計画的な米生産と麦・大豆を組み合わせた水田の有効活用に取り組み、水田農業の振興を図ってきた。麦・大豆の計画的な作付けを後押し、生産数量の配分時期を、従前の12月から8月に前倒しをしいく。

これにより、本県の水田農業の特徴の一つである稲・麦・大豆を組み合わせた二年三作体系をより推進し、水田のフル活用を進めるとともに、消費者のニーズに応え、優位販売につなげるため、農業総合試験場が開発した稲の「愛知123号」や、小麦の「ゆめあかり」などを普及させ、高品質・安定生産を推進していく。

イ 施設園芸の振興について

本県では、平成28年度に「あいち型植物工場推進事業」を創設し、産地と県関係機関やJA等が連携した環境制御技術の実証が始まったと聞いており、その成果を大いに期待している。そこで、本県の施設園芸の振興について、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

本県の施設園芸の振興については、県農業産出額の約3割を占める重要部門であり、5年後を目途として生産力の向上を目指すアクションプランを取りまとめた「産地戦略」の策定を推進していく。

施設園芸産地においては、あいち型植物工場の推進を積極的に支援し、これまでに10地区において、既存の施設にICTを活用した環境測定装置などの導入を進めてきた。

今後、核となる産地に、あいち型植物工場の導入を支援するほか、環境測定装置から得たデータを効率的に分析するソフトウェアを開発して、各産地に応じた高度な環境制御技術を確立し、的確な技術指導ができる指導者の育成を図っていく。

また、収集したデータやノウハウについては、産地内での取扱いルールを定めるなど知的財産として適切な管理を行いながら、産地と指導者が一緒になって、高度な環境制御技術を実証・普及する体制を整備し、産地全体の飛躍的な生産力の向上を図り、施設園芸の振興に取り組んでいく。

ウ 農業における獣害対策について

野生獣類による農作物被害は、被害を受けた農業者の所得を減少させるだけでなく、今後も同じような被害を受ける不安感などから、農業者の営農意欲の低下や離農の原因となるなど、本県の農業に深刻な影響を及ぼすものであり、農業の振興において、獣害対策は極めて重要な課題である。そこで、本県農業における獣害対策に、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。



年々増えている「イノシシ」の捕獲

本県農業における野生獣類による農作物被害を減少させるためには、野生獣の適正な個体数管理を進めながら、農地への侵入を防ぐ「防御」と農作物被害をもたらす個体の「捕獲」を組み合わせた獣害対策を、地域の関係者と連携して実施していく。

昨年度までに23市町村で20の協議会が設立され、シカ、イノシシなどの侵入を防ぐ金属柵や電気柵が総延長で約2,600km整備され、捕獲檻が約2,100基設置されている。

また、農業総合試験場では、ICTを組み込み、モニターを離れた場所で見ながら、イノシシなどを群れて効率的に捕獲できる「囲いわな」や、軽量で運搬や設置が簡単にできる樹脂製の侵入防止柵など、「捕獲」と「防御」の新たな技術開発に取り組む。

(3) 愛知の成長を支える広域幹線道路の整備について

2027年度にはリニア中央新幹線の開業により、首都圏から中京圏に及びリニア大交流圏の中で、一大産業拠点としての役割を担っていくことが期待されている。このため、人やモノの移動をより一層スムーズにする交通インフラの整備、なかでも広域幹線道路ネットワークの充実が重要である。そこで、リニア中央新幹線の開業を見据えつつ、愛知の成長を支える広域幹線道路の整備を、どのように進めていくのか、知事の所見を伺う。

愛知の成長を支える広域幹線道路の整備について、本県が、今後も日本経済をリードし続け、「産業首都あいち」を実現していくためには、空港・港湾等の交通拠点と各地に広く展開する生産

拠点との連携を強化し、物流の効率化に資する広域幹線道路ネットワークの整備が重要である。

名古屋港と生産拠点とを結ぶ名古屋環状2号線や、西三河地域などの自動車関連工場と三河港とを結ぶ名豊道路における未開通区間の解消は、生産性の向上に大きな効果を発揮することから、一日も早い全線開通に取り組む。

また、2027年度のリニア中央新幹線開業により、新たな交流軸が生まれ、リニア大交流圏の西の拠点としての求心力を強めるとともに、名古屋駅と中部国際空港とのアクセス性を高める西知多道路の整備促進や、岐阜方面との連携を強化する名岐道路の早期実現を図るなど、リニア・インバクトを広域的に波及させていく。



リニア新幹線

4 安全・安心な暮らしの実現について

(1) 次期医療計画の策定について

都道府県は、医療法に基づき、医療提供体制の確保を図るための計画を策定することとされており、今年度中に次期医療計画が策定されると伺っている。本県は、昨年度、「愛知県地域医療構想」を策定し、病床機能の分化・連携や、在宅医療の充実を図っていくこととしており、また、現在、各市町村において構築が進められている地域包括ケアシステムにおいても、その要となる在宅医療と介護の連携を図るため、様々な取組が進められている。次期医療計画においては、こうした計画や取組との整合性が図られ、その結果、医療と介護の一体的なサービス供給体制が整備されていくものと期待している。そこで、急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、次期医療計画をどのような考え方で策定するのか、知事の所見を伺う。



大村知事答弁

次期医療計画の策定について、急性期から在宅医療までの一体的な医療提供体制を構築することや、市町村が策定する介護保険事業計画との整合性を図ること等が求められており、機能区分ごとの病床の確保については、昨年10月に「愛知県地域医療構想」を策定して、不足が見込まれる病床機能への転換等推進していく。

在宅医療については、各地区医師会に設けられた在宅医療サポートセンターが中心となって、24時間対応可能な医療提供体制を構築するほか、ICTを活用した広域的に情報共有を図る取組等により、介護との連携を図る。

次期医療計画の策定では、県民の皆様が、適切に質の高い医療を、安心して受けられる体制を確保する。

(2) 地域強靱化に向けた施策の推進について

本県は、地域強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成27年8月に、先ず、地震・津波を対象とした愛知県地域強靱化計画を策定し、その後、平成28年3月には、自然災害全般を対象とした計画へと拡充している。現在、この計画に基づき、住宅・建築物等の耐震化、河川の改修などといった強靱化の取組を進めているところであるが、関係機関との一層の連携の強化や災害対策の研究、そして専門家の人材育成などを進めていく必要がある。そこで、本県の地域強靱化に向けた施策の推進について、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

地域強靱化に向けた施策の推進について、本県は、モノづくりを中心とした産業集積、国内外との物流・交通ネットワークの要、国土軸の結節点であるなど、我が国にとって重要な機能が集中している。

大規模災害により、これらが機能不全に陥り、迅速な復旧・復興がなされなければならない。そのため、災害に備え、強さとしなやかさを持った安全・安心な県土・地域・経済社会を構築するよう、愛知県地域強靱化計画を策定した。

この計画では、本県を始め、国、市町村やライフライン事業者等の関係機関が実施する601の個別具体的な施策を定め、地域の強靱化に向けた取組を進める。

本年6月1日には、名古屋大学と名古屋市と共同で「あいち・なごや強靱化共創センター」を開

設し、大規模災害時にも地域の社会経済活動を維持するための施策の調査研究や、人材育成を戦略的に実施していく。

(3) 治安対策について

本県の犯罪の発生状況を全国と比較すると、平成28年中の住宅対象侵入盗の認知件数は全国ワースト1であり、自動車盗や特殊詐欺の被害も多発している。このような犯罪の発生を止めるためには、早期かつ確実に犯人を検挙して、被害の拡大を防ぐとともに、犯罪を犯そうとする者に対して、犯罪者は必ず捕まるといった認識を持たせ、犯罪の抑止につなげることが最も効果的である。そこで、治安対策における警察の捜査力向上に向けて、どのように取り組んでいくのか、警察本部長の所見を伺う。

(警察本部長答弁要旨)

治安対策における警察の捜査力の向上に向けた取組について、愛知県における刑法犯の認知件数は、平成15年の22万5,706件をピークで、犯罪の抑止と検挙に取り組んだ結果、平成28年にはピーク時の約3割である70,254件まで減少した。自動車盗については、1,349件で前年比で約4割減少し、侵入盗についても、7,158件で前年比約1割減少した。しかしながら、侵入盗の認知件数は10年連続全国ワースト1位であり、特殊詐欺は、認知件数が初めて1,000件を超え、被害金額も3年連続して30億円を上回った。

県警察においては、多発する組織窃盗や特殊詐欺等の犯罪に対し、部門を横断したプロジェクトを立ち上げ、総力を挙げた検挙対策を進めているほか、窃盗や特殊詐欺の取締部門の体制強化、防犯カメラ画像やDNA型資料の採取などの客観的証拠の収集強化等、被疑者の早期検挙、被害の拡大防止に向けた捜査力の向上に努めている。その結果、刑法犯の検挙率は、平成13年の16%から平成28年には31.5%に上昇し、刑法犯認知件数も減少傾向を継続している。

5 次代を担う人づくりについて

(1) 教員の多忙化解消プランの推進について

文部科学省の調査結果は、多くの教員が、正規の勤務時間を大幅に超えて教育活動に従事している実態を示している。

こうした中、本県の教育委員会は、本年3月に、具体的な時間外労働の削減目標を掲げた「教員の多忙化解消プラン」を、全国に先駆けて策定している。学校を取り巻く様々な教育課題に対応しつつ、本県教育のさらなる充実を図っていくためには、国の対策を待つだけではなく、県が率先して、早急に改善を図り、教員が心身共に良好な健康状態の中で、教育活動に従事できるような対策を講じていく必要がある。そこで、教員の多忙化解消プランに基づき、今後、どのような取組を進めていくのか、教育長の所見を伺う。

(教育長答弁要旨)

教員の多忙化解消に向けた取組について、本年3月に策定した「教員の多忙化解消プラン」では、在校時間が月80時間を超える教員の割合を、平成31年度までにゼロにすることを目標に、在校時間管理の適正化、業務改善に向けた学校マネジメントの推進、部活動指導に関わる負担の軽減、業務改善と環境整備の取組を進める。

まずは、教員の勤務実態を詳細に把握し、今年度は、小・中・高等学校各1校をモデル校として民間の業務改善コンサルタントを派遣し、教員へのヒアリングや業務の洗い出しを



平松教育長答弁

を行い、今後の業務改善の方策の実施につなげていく。また、部活動については、暫定的に定めた休養日の遵守を各学校に呼びかけ、部活動の運営体制の在り方や学校種別ごとの適切な練習時間の設定など、ガイドラインの策定に向け、具体的な検討を進めていく。

このほか、出退勤時間記録の電子化に向けた研究や、夏季休業中の学校閉校日の設定の検討など、プランに掲げた取組を進めており、毎年度末に開催するフォローアップ会議において、取組全体の効果の検証と内容の見直しを行う。

TOPICS トピックス



1月23日 蒲郡柑橋同志会県庁勉強会 議員会館において



2月12日 三河湾健康マラソン



2月16日 国道473号新ルートの蒲郡・岡崎市議会、県議会議員との意見交換会 岡崎市役所において



4月2日 春日山桜まつり 形原春日山において



4月30日 第17回森の文化祭 さがらの森において



5月10日 東三河首長から石原副知事へ要望書を手渡す 東三河県庁において



6月3日 設楽ダム転流工事記念式典 設楽町ふれあい広場において



6月24日 自民党蒲郡支部定期大会 蒲郡市民会館において